

新産業の森西部地区まちづくりニュース

創刊号（令和5年12月号）
発行：新産業の森西部地区まちづくり検討会

新産業の森西部地区まちづくり検討会を発足しました！

「新産業の森西部地区」において、まちづくりに関する説明会や意向調査における地域のご意見を踏まえ、新たなまちづくりに向けた検討を進めるため、土地所有者および関連自治会・地元組織の協力を得て、検討会を発足しました。



▲検討会の様子（会場：御所見市民センター）

日時：10月27日（金）18:00～20:00

内容：①検討会の発足と決議事項

②地区の概要について

③意見交換（地域の魅力や課題、めざす将来像）

<第1回検討会の決議事項>

まちづくり検討会の発足にあたり、次の4点について採決し、決定しました。

I.検討を進める区域の名称は...	「新産業の森西部地区」
II.まちづくり検討会の名称は...	「新産業の森西部地区まちづくり検討会」
III.まちづくり検討会の会則は...	「新産業の森西部地区まちづくり検討会会則」 ※会則は事務局ホームページをご覧ください。
IV.まちづくり検討会の会長・副会長は...	会長：漆原啓一さん 副会長：落合伸一さん ※委員名簿は事務局ホームページをご覧ください。

まちづくり方針【基本構想(案)】の策定に向けた検討を進めていきます！

この検討会は、「新産業の森西部地区」において、藤沢市都市マスタープランに基づき産業拠点の強化を図るとともに、生活基盤の整備による住工混在に配慮した良好な居住環境の形成をめざし、まちづくりの実現にむけた検討を推進することを目的としています。

<検討会の主な取組内容>

今年度

- R5年度 (2023) **ステップ1** 2023年10月～2024年3月
■検討会の発足！
■まちづくり方針を考える！
- R6年度 (2024) **ステップ2** 2024年4月～2025年3月
■将来像の実現に向けたゾーニング等を考える！
- R7年度 (2025) **ステップ3** 2025年4月～2026年3月
■まちづくり方針【基本構想(案)】を考える！

新産業拠点の創出をめざした、基本構想(案)を策定

■検討事項■

- ①まちづくり方針【基本構想(案)】の検討に関する事
- ②整備手法に関する事
- ③産業振興、農業振興、緑地保全、スポーツ振興に関する事
- ④その他、まちづくりの実現に向けて必要な事項

【問合せ先（検討会事務局）】藤沢市都市整備部西北部総合整備事務所

電話：0466-46-5162

e-mail：fj3-seihoku@city.fujisawa.lg.jp

HP：https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/seihoku/machizukuri/toshi/shisaku/shinsangyo.html



■ 検討委員から挙げられた主な意見をご紹介します！

第1回の検討会では、まちづくりの検討に向けて「地域の魅力」「地域の課題」「めざす将来像」について、意見交換を行いました。

地域の魅力は？

- ・樹林地や雑木林など自然が豊かであり、住みやすい環境であること。
- ・のどかで過ごしやすい静かなところ。
- ・富士山や丹沢、新幹線などを望める良い眺望や景観。
- ・神社やお寺など、地域にとって大切な場所。
- ・綾瀬スマートインターチェンジまで距離も近く利便性が良い。
- ・大きなグラウンドが2箇所ある。
- ・大和や海老名などの他市に行きやすい立地が良い。

地域の課題は？

- ・いつの間にか山林で、無秩序な土地利用がされている。
- ・荒廃地や空き地が多く、農地の異臭や砂埃、不法投棄が問題になっている。
- ・道路や下水道等のインフラ整備が遅れている。
- ・交通の便が悪く、自動車が無いと生活できない。
- ・道が狭く、通学する子どもが危ない。
- ・夜間照明（街灯）が少ない。
- ・若い人が地域内に少なく、農業の担い手や後継ぎがいない。
- ・スーパーや買い物に行けるお店、病院が近くにない（少ない）。
- ・女坂では大雨が降ると膝丈くらいまで冠水しており、雨水排水の不良箇所がある。
- ・北部地区を中心に、大型車両の路上駐車が目立つため改善が必要である。

めざす将来像は？

- ・森林や雑木林を利用した自然公園など、豊かな緑を保全したまち。
- ・自然と共生したまちづくり。
- ・生活するうえでの利便性や快適性を追求したまちづくり。
- ・安全に住めるまち。
- ・住み続けたい方が住み続けられるまち。
- ・騒音問題が発生しないよう、産業地域から離れた住居ゾーンの確保。
- ・住みやすい環境を残しながら、スーパー等があり利便性を高めていけるまち。
- ・周辺との調和を大切にしながら、新産業の誘致を図り、進出企業と住民の交流を促進する。
- ・スポーツ広場等の福利施設を活用した、スポーツを視点とするまちづくり。
- ・元から農業をやっている方が農業で元気ができるまち。

※まちづくりニュースは、「新産業の森西部地区」の土地所有者に配布しております。
また、葛原第一自治会・用田第一自治会の回覧板、
および藤沢市都市整備部西北部総合整備事務所のHPでもご覧いただけます。

新産業の森西部地区（約67.8ha）においてまちづくりの検討を進めるにあたり、土地活用に関する意向やまちづくりに対する考え等を広く収集し、まちづくり方針の参考とするため土地所有者を対象とした意向調査を実施しました。

※「新たなまちづくりの検討地区」は、第1回検討会で「新産業の森西部地区」に決まりました。

【調査対象】

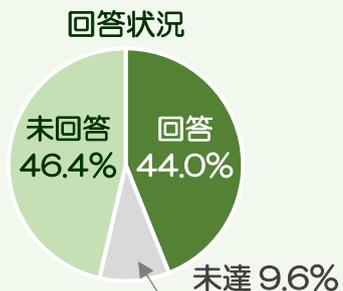
新たなまちづくりの検討地区内にある土地登記簿謄本に記載されている土地所有者を対象に調査票を配布。

【調査時期】

・2023年6月23日～8月31日

【回答状況】 ※2023年8月31日時点

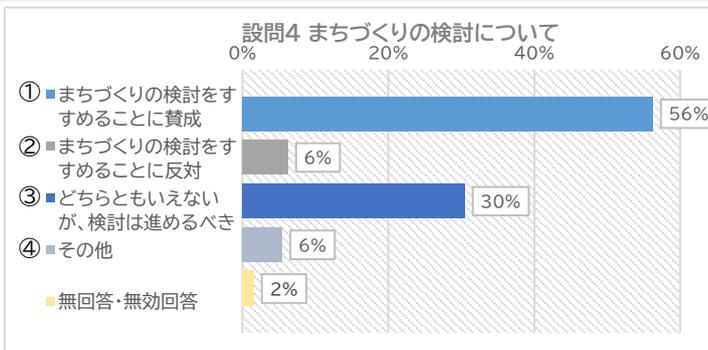
・回答数：128（回答）/291（配布） 回答率：約44%



設問

「新たなまちづくりの検討地区」においては、北部地区・第二地区に引き続き、まちづくりの検討をすすめてまいります。
あなたはまちづくりの検討をすすめることについて、どのように考えますか？

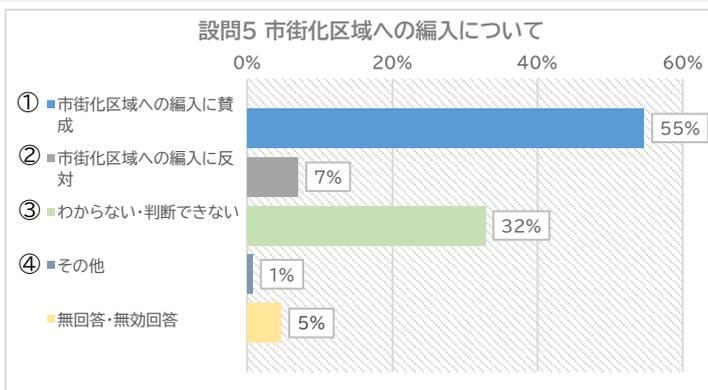
- 「①賛成」と回答した方が約6割、「③どちらともいえないが検討はすすめるべき」と回答した方は約3割であり、あわせて約9割の方がまちづくりの検討に前向きと考えられる。



設問

「新たなまちづくりの検討地区」では、将来的に市街化区域への編入を想定しています。市街化区域に編入することについて、どのように考えますか？

- 「①賛成」と回答した方が約6割、「②反対」と回答した方が1割未満である。市街化区域への編入に対して比較的前向きな傾向といえる。
- 一方、「③わからない」と回答した方が約3割となっており、まちづくりについて理解を深める必要がある。



設問

計画的な市街地整備を実施するため、組合施行の土地区画整理事業の実施を想定しています。組合施行の土地区画整理事業を実施することについて、どのように考えますか？

- 「①賛成」と回答した方は約5割、「②反対」と回答した方が1割未満である。土地区画整理事業の実施に対して比較的前向きな傾向といえる。
- 一方、「③わからない」と回答した方が約4割となっており、まちづくりについて理解を深める必要がある。

